

● 施策・事業

「暮らしやすさ日本一の県づくり」に向けた取り組みが、効果的・効率的に実施できるよう、その目的等を考慮し、これらを「基本目標-政策-施策・事業」の三段階に区分し、体系化します。

基本目標

今後、達成すべき分野別の7つの基本的な目標

政策

基本目標を達成するために、本県が、今後、重点的に取り組む29の政策

施策・事業

それぞれの政策を構成する282の主要な施策・事業

● 7つの基本目標：7つのチャレンジ

「暮らしやすさ日本一の県づくり」を実現するため、次の7つの基本目標を設定し、山梨の明るく元気な未来づくりに向け、持てる力を最大限に発揮させながら、ねばり強く「チャレンジ」していきます。

基本目標1

「元気産業創出」チャレンジ

～世界へやまなしブランドを積極セールス。元気なやまなしを実現～

政策

- 1 成長分野への参入と新産業の集積
- 2 成長分野を支えるプラットフォームの充実
- 3 やまなしブランドの確立
- 4 地域経済の活性化と雇用の安定
- 5 未来の農業を担う担い手の確保と高収益農業の実現
- 6 中心市街地の活性化と商業の振興



県内事業者の海外への販路開拓・拡大などのビジネス展開を支援（「ジェトロ山梨貿易情報センター」開所式）

主な数値目標	現況値	目標値
成長分野進出に取り組む中小企業への支援件数(行動計画期間中の累計)	—	28件 (H26)
企業誘致数(行動計画期間中の累計)	—	50件 (H26)
産学官連携等の支援件数及び産学官共同研究実施件数(累計)	139件 (H22)	270件 (H26)
インターンシップに参加した県立高校生の参加割合	39.7% (H22)	45.0% (H26)
フィルム・コミッションの取扱件数	142件 (H22)	200件 (H26)
地場産品のブランド確立に向けた取り組み支援件数(累計)	45件 (H22)	125件 (H26)

主な数値目標	現況値	目標値
海外への販路拡大等を目指す中小企業者に対する支援件数(行動計画期間中の累計)	—	80件 (H26)
県立職業能力開発施設内で行う離転職者訓練終了3ヶ月後の就職率	61.2% (H22)	80.0% (H26)
県産果実の輸出額	253百万円 (H22)	500百万円 (H26)
新規就農者数	185人 (H22)	250人 (H26)
農産物直売所の販売額	4,852百万円 (H22)	6,500百万円 (H26)
中心市街地における歩行者通行量	167,392人 (H22)	172,000人 (H26)

基本目標2

「環境先進地域」チャレンジ

～自然力を活かし、日本一環境にやさしい県やまなしを実現～

政策

- 1 自然力を活かしたクリーンエネルギーの導入促進
- 2 地球にやさしい省エネライフの推進と循環型社会の形成
- 3 活力ある林業の振興と豊かな森林の保全
- 4 自然と調和した美しい農山村づくりの推進
- 5 快適で美しい環境の保全



世界遺産「富士山」の保全対策を推進（カンボジア・世界遺産委員会において「富士山」の世界遺産登録決定）

主な数値目標	現況値	目標値
太陽光発電(住宅用)による出力数	31,561kW (H22)	72,131kW (H26)
一人一日当たりごみ排出量	965g (H21)	901g (H26)
産業廃棄物排出量	1,300千トン (H21)	1,240千トン (H26)
民有林の森林経営計画等作成面積(累計)	44,484ha (H22)	48,900ha (H26)

主な数値目標	現況値	目標値
素材生産量	148千m ³ (H22)	250千m ³ (H26)
農業生産工程管理(GAP)導入産地数	8産地 (H22)	24産地 (H26)
耕作放棄地解消面積(累計)	545ha (H22)	1,250ha (H26)
市町村景観計画策定数	3団体 (H22)	22団体 (H26)

基本目標3

「ウェルカム、おもてなし」チャレンジ

～観光で世界に開かれた「日本のスイス」やまなしを実現～

政策

- 1 地域のおもてなしの向上と地域資源を活かした観光の振興
- 2 やまなしの魅力発信と多様な交流の推進



東京・有楽町の東京交通会館内に「やまなし暮らし支援センター」を設置



トップセールスにより観光、県産品、企業支援など多様な交流事業を推進（ガルーダ・インドネシア航空及びローソンインドネシアとの連携協定締結式）

主な数値目標	現況値	目標値
県内延べ宿泊者数	5,877千人 (H22)	6,500千人 (H26)
峡南地域における滞在型市民農園整備地区数(行動計画期間中の累計)	—	4地区 (H26)

主な数値目標	現況値	目標値
県内外国人延べ宿泊者数	529千人 (H22)	700千人 (H26)
主要な交流施設における農業・農村体験者数	233千人 (H22)	250千人 (H26)